

IBM Express Advantage オフアリング 動画で見るソリューション

## 未来型総合経営支援ERPソフトGRIP

カーディナルシステム株式会社

皆さんこんにちは。

カーディナルシステム株式会社 寺野です。

日本の中堅・中小企業の皆様の経営を支援させていただくソフトウェアとして、私が設計・開発した『GRIP』をご紹介します。

まず、こちらが『GRIP』のコンセプトです。

現在販売されている基幹業務パッケージの、そのほとんどは会計および会計の補助システムです。

例えば、売上高を登録し、納品書・請求書を発行し、売上高を集計します。

その結果として、「先月はこれだけ儲かった/儲からなかった」などを、経営者に対して報告しているのではないのでしょうか？

しかし、経営者が欲しいデータは、過去の実績データではありません。

『そこと取引をして良いのか？』、『物を売って良いのか？』『ちゃんと回収できるのか？』、『精度の高い資金繰りがしたい！』、『物を買って良いのか？買った後会社がどうなるのか？』等です。

つまり経営者の皆様が一番心配なのは、『お金が足りるのか？』ということなのです。

しかし、このようなことを現在販売している基幹パッケージでは自動的に抽出することはできません。皆、表計算ソフトなど手作業で行っているのです。コンピュータによるシステム運用をしているのに、経営に必要なデータが即座に抽出できない。なぜでしょうか？

それは他のパッケージが会社経営の経験の無い会計士が監修し、業務経験の少ないシステム・エンジニアがパッケージ開発し、販売しているからです。

私の財務の実務経験を基に、経営者の皆様に少しでもお役に立つソフトを作りたい。良い会社が育って欲しい。メイド・イン・ジャパンを守りたい、そういう想いで作ったソフト、それが『GRIP』です。

会社のシステムは、社員、特に事務員のためにあるものではありません。経営者の皆様の、経営の道

具であるべきという考えで設計しております。したがって資産状況・資金繰計画・製造原価・設備投資計画など、現在の正確な経営状態の把握と将来の経営予測が可能です。

企業経営においてリスク・マネジメントは非常に重要です。『GRIP』では、可能な限り、警告メッセージを表示することで、リスクを回避できるように設計しております。

また、『GRIP』はノーマニュアルです。

解説機能を装備しており、データの見方、判断の仕方を記載しています。皆様の近くに専門の財務部員が居るように使っていただけたら幸いです。

更に、キャッシュ・フロー経営ができるように、また、『これだけ売上があるのになぜ利益が出ないのか？』、『これだけ利益があるのに、なぜ会社が良くならないのか？』といったことに対して、対策がとれるように開発しております。

『GRIP』から、可能な限り、警告メッセージを表示いたします。

『そこと取引していいのか？』、『その手形をもらっていいのか？』、『その設備投資をしていいのか？』会社には色々なリスクが発生いたします。リスク・マネジメント、内部統制に有効にご利用ください。

『GRIP』のメイン・メニュー構成をご覧くださいませ。

銀行取引、生命保険、損害保険は、金融機関で資金が固定化するのを管理します。受注・売掛管理、受取手形管理、仕入・買掛金管理、支払手形管理は、運転資金の管理です。固定資産管理、設備投資計画、在庫管理、不動産管理、リース資産管理は、長期で資金が固定化するのを管理します。

このように『GRIP』は、資金に着目して開発しております。

もちろん、従来からの会計および会計の補助システムとしての機能は持っております。

また、自動仕訳機能を導入することにより、経理業務の自動化に成功しております。

また、『なぜ、お金がなくなるのか？』『なぜ、会社が強くないのか？』の判断材料の一つとして、月次キャッシュ・フロー計算書を開発いたしました。『GRIP』で評判の機能の一つで、キャッシュ・フロー計算書作成のための実務指針に基づいて開発しております。

絶えず、フリー・キャッシュ・フローがプラスになるように経営するための道具としてお使いください。